

観察し、仮説を立て、実験をし、考察する。そして、発表する。

SSRA『課題研究A』

研究倫理について

1. 「倫理」とは、
人として守り行うべき道。
善悪・正邪の判断において普遍的な規準となるもの。道徳。モラル。
デジタル大辞林より
2. 「研究倫理」とは、
以下に述べる不正なことを決して行わないこと、に尽きる。
3. 不正の例
「STAP細胞」問題
2014年（平成26）1月、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター（理研CDB）の研究者らが、STAP細胞ができたとの論文をイギリスの科学誌『ネイチャー』に発表したと、盛大な記者会見が行われた。しかし同年2月以降、その論文のデータ画像などに疑義が指摘され、調査の結果、5月までに、不適切な切り貼り、コピー（コピー&ペースト）や改ざん、捏造があったことが明らかになり、研究不正が行われたと認定された。そのため同年7月に、論文は正式に撤回されるに至った。
4. やってはいけないこと
 - ①改ざん
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ・研究活動によって得られた結果などを真正でないものに加工すること
 - ②捏造
自らの主張や都合のよいように、存在しないデータや結果をつくりあげること
 - ③盗用
ほかの研究者のアイデア、分析方法、データ、研究結果、論文または用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示をせずに流用すること
5. 盗用と引用の違い
他人の書いた文章や資料・データなどを無断で使用 → 「盗用」
一定のルールに従って用いる → 「引用」
6. 引用の方法
 - ①適切な引用方法と引用文献は2つで1セットである。どちらも欠くことのないように。
 - ②引用元を明示し、本文と引用した部分を明確に区別する。
 - ③先行研究やその数値データなどの作成物を引用する場合、引用したことがわかるように、執筆者名もしくは機関名、その発行年を示す。
 - ④論文の最後に「引用文献・参考文献」として示さなければならない。